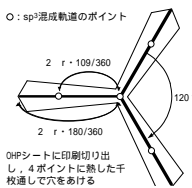

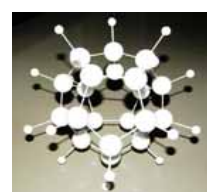
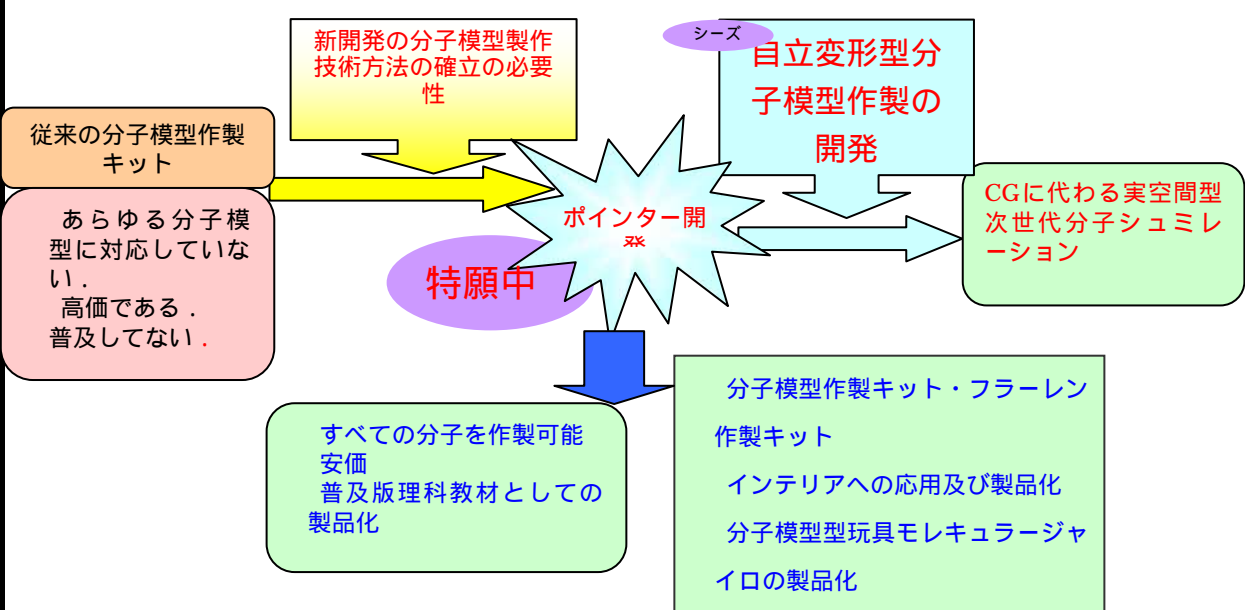


# 福井大学研究シーズデータ

名前・学部・学科等	藤井 豊・医学部・分子生命化学				
研究情報の分類	シーズ	特許	新製品	分析/解析	調査
研究分野の分類	18	以下の18項目から一つ選び番号を左欄に記入する。 1.物理系 2.エネルギー系 3.化学系 4.バイオ系 5.環境系 6.海洋・宇宙系 7.交通系 8.機械系 9.材料系 10.電子・電気系 11.情報系 12.建築・建設系 13.医学系 14.健康・保険系 15.看護・福祉系 16.農業・林業系 17.水産・畜産系 18.その他			
重点研究分野への該当	I T	ナノ	バイオ	環境・エネルギー	その他
キーワード(5個以内)	分子	教材	教育	化学	
研究情報の名称	教材用分子模型作製キットの開発				
概要					
<p>現在市販されている分子模型キットでは、原子として硬質のプラスチック球や多面体が用いられているが、球数(200ほど)も球種も少なく、特殊な分子の作製には不向きでありかつ数万円ほどする高価なものである。そこで、発泡スチロール球と爪楊枝という安価な素材を利用し、新開発のポインター(特許申請中)により全ての球種に対応することが可能となったことで、事実上すべての分子模型の製作が安価に行えるようになった。このシステムを理科教材として普及させたい。</p>					
<div><div><p>メタン型分子を作製するときのポインター</p></div><div><p>ポインターは一種の計測器具として、分子模型を作製するときの各種原子の結合ポイントを割り出すときに使用する。各球種およびサイズに合わせて必要な種類を開発した。</p></div><div><p>フラレーン</p></div><div><p>ドデカヘドラン</p></div></div>					
グラフィカルな社会還元までのチャート					
 <pre>graph LR     A[従来の分子模型作製キット] --&gt; B[新開発の分子模型製作技術方法の確立の必要性]     B --&gt; C((ポインター開発))     C --&gt; D[自立変形型分子模型作製の開発]     D --&gt; E[CGに代わる実空間型次世代分子シュミレーション]     C --&gt; F[分子模型作製キット・フラレーン作製キット]     F --&gt; G[インテリアへの応用及び製品化]     G --&gt; H[分子模型型玩具モレキュラージャイロの製品化]     C --&gt; I[すべての分子を作製可能安価普及版理科教材としての製品化]</pre>					
関連している企業・大学・団体等	ハーモニー産業				
関連する特許 1 件	特願 2003-099479(2003.04.02)分子模型作製方法、及び分子模型作製用部材				
関連する論文 1 編	藤井豊・分子模型作製方法の開発・福井大学医学部研究雑誌・73-80,4(1,2),2003.				